

請 願 書

石垣市平得大俣地域への陸上自衛隊配備について、諸手続きの中止を求める
請願について

2017年3月10日

石垣市議会議長 知 念 辰 憲 殿

石垣市登野城72番地

八重山地区労働組合協議会気付
石垣島に軍事基地をつくらせない市民連絡会

共同代表	上 原 秀 政
〃	金 城 哲 浩
〃	波照間 忠
〃	嶺 井 善
〃	八 重 洋一郎
	(糸 数 健 一)

於茂登公民館長	喜友名 朝 福
開南公民館長	砂 川 英 秀
川原公民館長	具志堅 正
嵩田公民館長	川 満 哲 生

紹介議員

小 底 嗣 洋
宮 良 操
長 浜 信 夫
石 垣 涼 子
井 上 美智子
崎 枝 純 夫
福 島 英 光

請 願

石垣市平得大俣地域への陸上自衛隊配備について、諸手続きの中止を求める
請願について

請願の趣旨

2015年11月26日、防衛省は、石垣市への陸上自衛隊配備について正式要請し、2016年には2回の住民説明会を開催。ただ一方で、「石垣島への自衛隊配備を止める住民の会と嵩田公民館、名蔵有志による自衛隊配備計画中止を求める各請願は否決されましたが、8月に提出された開南公民館、川原有志の会による平得大俣地区への自衛隊配備計画中止を求める請願は、現在継続審議中です。

また、10月28日の石垣市主催の公開討論会で実施されたアンケートの回答は、反対46%、賛成27%、その他29%であり、さらなる情報開示や、議論を尽くすべきという結果でした。

ところが、昨年12月26日突然、市長は記者会見を開き「平得大俣地域への陸上自衛隊配備について手続きを開始することを了承した」旨を発表しました。この表明は、自らの12月議会での「4公民館長と面談する」との答弁を反故にし、配備中止を求める請願が継続審議中であるにもかかわらず行われ、住民、議会無視の独断、暴挙です。直ちに、「石垣島に軍事基地をつくらせない市民連絡会」や4公民館、市民は抗議をし、その撤回を求めました。

さらに、2月7日中嶋浩一郎沖縄防衛局長が市長と面談し、周辺地権者等の関係者との調整を開始する旨伝え、具体的に配備に向けて動き出しています。

4公民館は、配備反対の意志を幾度となく示し、配備計画の撤回を強く求めてきました。開南・川原有志による配備撤回を求める請願は議会で継続審議中であり、住民の意志・議会を無視して、国・防衛省へ問題を丸投げすることは到底容認することはできません。

手続き開始は、配備ありきで進むことを意味しています。市長は、具体的な情報を得て調整するとしていますが、「基本的には現在の候補地で進めていく」と述べ、配備ありきの詭弁です。このまま、配備に向けた手続き、市有地の売却や周辺地権者との交渉など進めれば、市民を分断することにもなりかねません。

これまでの経緯をみれば、市民的にも、議会でも議論は尽くされていないことは明らかであり、国民保護避難計画や配備によるリスクなど明らかにすべきことが残されています。

よって、市有地の処分や、周辺民有地の取得など平得大俣地域への陸上自衛隊配備の諸手続きを直ちに中止することを求めます。